

## カワサキモーターズ事業方針説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1 : 売上高について、2021 年度 4,100 億円(予想)から 2030 年度 1 兆円への成長を目指す計画ですが、どの分野がけん引しますか。</p>	<p>A1 : 二輪車は世界的な人口増に伴う増収を見込んでいますが、オフロード四輪車はそれを上回る成長を期待しています。</p>
<p>Q2 : 営業利益率について、2021 年度 6.1%(予想)から 2030 年度 8%への成長を目指す計画ですが、どのように達成しますか。</p>	<p>A2 : 増収により固定費率を低減することで、営業利益率を向上していきます。</p>
<p>Q3 : 北米のオフロード四輪市場は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、三密を回避するアウトドアレジャーとして、大幅に需要が拡大していますが、感染症による影響が落ち着いた後も中長期的に成長すると見えていますか。</p>	<p>A3 : 北米のオフロード四輪市場は、新型コロナウイルス感染症の発生以前から拡大基調でした。現在の大幅な需要増は感染症が落ち着くことにより反動減が生じる可能性はあるものの、中長期的には成長が続くと考えています。</p>
<p>Q4 : 二輪車業界では自動車業界に比べて EV 化が遅れている理由と、その中で当社が「2035 年までの先進国向け主要機種種の EV 化」を決定した背景を教えてください。</p>	<p>A4 : 二輪車業界特有の課題として、自動車に比べて重量やサイズの制約が大きく、技術面・コスト面における難易度が高いことが挙げられます。しかし、会社の持続的な成長のためには、社会的なカーボンニュートラルの要請に応えていくことが必要と考え、この度の決定に至りました。</p>
<p>Q5 : 2021 年 10 月にカワサキモーターズが発足しましたが、分社によってどのような効果があると考えていますか。</p>	<p>A5 : 意思決定の迅速化を図ることで、市場の変化に速やかに対応することができる等の効果を得られたと考えております。分社といっても川崎重工グループの一員であることに変わりなく、他事業との様々なシナジーを生かして、会社のさらなる発展につなげていきます。</p>
<p>Q6 : 芝刈り機の電動化が進むことにより、芝刈り機用エンジン市場が今後縮小するリスクはありますか。</p>	<p>A6 : 個人用の芝刈り機は、今後電動化が進む可能性があります。一方、業務用の芝刈り機は、1 日の稼働時間が長く、EV では頻りにバッテリーを交換する必要があるため、今後もガソリンエンジンの需要が残ると見えています。</p>

以上